



一般社団法人 明日禰



MIKOSHI GUY

2019年3月吉日  
一般社団法人明日禰  
「MIKOSHI GUY」製作委員会

# 震災から8年目、「祭が被災地に希望の光を灯した」 東日本大震災の瓦礫から神輿を作り“祭”を取り戻した男のドキュメンタリー 映画『MIKOSHI GUY 祭の男』公開！

期間：2019年3月23日（土）～29日（金）

場所：アップリンク渋谷（東京都渋谷区宇田川町37-18 トツネビル2F）



一般社団法人明日禰は、2019年3月23日（土）～29日（金）にアップリンク渋谷にて、当団体が制作協力を行い、代表の宮田宣也が主演を務めるドキュメンタリー映画「MIKOSHI GUY 祭の男」を公開します。本作は、被災地から始まり、祭を通して、被災地、日本、海外の人たちが繋がっていく様子を追った、エネルギー溢れるドキュメンタリーです。

## ドキュメンタリー映画「MIKOSHI GUY 祭の男」

予告編：<https://youtu.be/k85sOKMMrSc>

公式サイト：<http://mikoshiguy.com/>

本作は、主演の宮田宣也のターニングポイントとなった東日本大震災のエピソードも描かれています。震災によって、東北各地では神社も被害を受け、地域の人たちを結ぶ大切な機会である「祭」も開催が危ぶまれていました。

当時筑波大学大学院生だった宮田宣也は、自転車で単身、宮城県に入り、しばらくボランティア活動を続けますが、地元の人からの「本当は祭をやりたい」という声を受け、神輿職人を祖父に持つ宮田は、被災した石巻市の新山神社に残っていた木々を活用し、新しい神輿を作ることに。2011年11月、震災以来初めて神輿があがったとき、地元の人たちは手を合わせて涙を流しました。地域の人たちの希望の光になり、コミュニティの結束力を育む「祭」の力を、被災地での体験を通じて痛感した宮田。以後、日本各地の衰退しそうな祭を再興させようと、都市部の若者たちや海外からの留学生らを巻き込み、国内外を奔走しています。

## 映画ストーリー・見どころ

日本の祭の豊かな風景は、日本人が数百年ずっと守り続けて来た大切な文化。それが今、消えてしまいそうな現状にあること、そしてまだなんとか残っていること。そしてそこには必死に祭に情熱を傾ける人達がいること。

この映画は、日本の祭の再興を願って全国の神輿を担ぎ、海を越えて神輿をあげる一人の男、宮田宣也と彼の仲間たちを追ったドキュメンタリー映画です。祭ならではの熱い空気感。近代化された都市部では希薄になっている人と人との結びつき。先人たちが命懸けで守ってきた“宝物”の祭の世界を、スクリーンでぜひ体感してください。



### 見どころ① 祭がもたらす希望の燈

神輿も被災し、祭の伝統も途絶えそうになっていた被災地を筆頭に、祭があることで、人が集い、思いを寄せ合い、地域に活気生まれる様子がリアルに映し出されています。

### 見どころ② 地域ごとの特徴が現れる祭の多様さ

本作の中では、宮田が関わっている全国各地の多様な祭の様子が映し出されます。衣装や神輿の担ぎ方、祭に懸けられている願いなど、地域によって全く異なる多様さを満喫できます。

### 見どころ③ 若き職人たちの生き様

神輿も神輿職人一人だけで作れるわけではありません。本作の中で宮田は、岡山県備前国総社宮の150年前に作られた神輿の修復に望みますが、その際、同世代の彫金師や漆職人も巻き込んで、一緒に作り上げていきます。150年後に残る神輿を作ろうと、切磋琢磨する若き職人たちの姿も必見です。

### 見どころ④ 海外でも求められる「祭」

宮田の神輿や祭を伝える活動は、今や日本国内にとどまらず、海外にも広がっています。本作ではフランス、ドイツでの様子を映し出しています。国境を越え、文化の壁を越えて、祭のもとに一体になっていく人々の様子をぜひご覧ください。

## 劇場公開時のトークイベントスケジュール

3月23日（土）～29日（金）のアップリンク公開期間中は、連日トークイベントを開催予定です。作家・ジャーナリストの佐々木俊尚さん、歌手のCHAN-MIKAさん、日本民謡鳳蝶流の家元、鳳蝶美成さんなど、多ジャンルのゲストとともに、本作を様々な切り口からお楽しみいただけます。

最新情報は公式noteにて、発表してまいります。

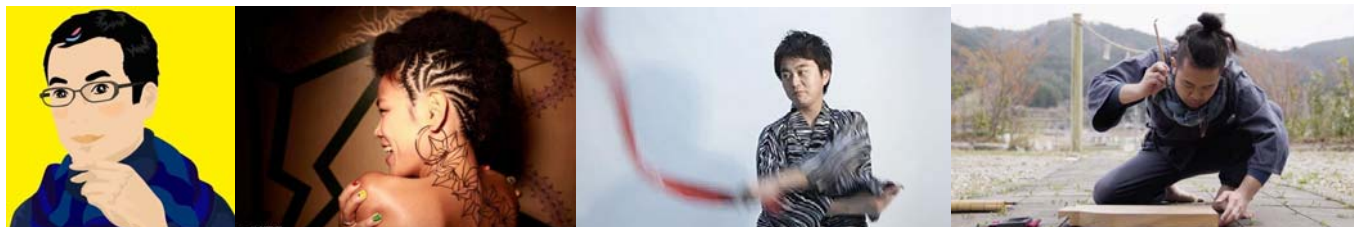
3月23日（土） 佐々木俊尚（作家・ジャーナリスト）×主演・宮田宣也×イノマタトシ監督

3月24日（日） CHAN-MIKA（歌手）×主演・宮田宣也×イノマタトシ監督 ※ほかゲスト調整中

3月25日（月） 鳳蝶美成（日本民謡鳳蝶流家元）×主演・宮田宣也×イノマタトシ監督

3月28日（木） 遠藤夕幻（書道家）×主演・宮田宣也×イノマタトシ監督

公式note : <https://note.mu/mikoshiguy/n/n239d660124e6>



（左から順に）佐々木俊尚、CHAN-MIKA、鳳蝶美成、遠藤夕幻

## 法被・半纏割引

アップリンク渋谷での上映に、法被あるいは半纏でご来場いただくと、通常一般鑑賞料金1800円のところ、1300円でご鑑賞いただけます！劇場がある渋谷を「祭」のムードで是非一緒に盛り上げてください。

詳しくは、公式note (<https://note.mu/mikoshiguy/n/n869e5b94ede6>) をご覧ください。

## 法被・半纏割引

通常一般1800円 - 1300円!



## 出演者・スタッフ

### 出演者 宮田宣也 プロフィール

神輿の修理、製作をする木工の職人。

地方の祭礼支援や神輿や山車を使った祭の再生に関わる。祭を次世代へ繋ぐため、地方の祭礼との連携を積極的に行う明日禪（アシタスキ）という活動を行う。

茨城県八坂神社、岐阜県手力雄神社、神奈川県大稲荷神社、宮城県桑浜白銀神社・大須八幡神社、山梨県美和神社など日本各地の祭の支援を行い、さらに宮城県雄勝地域の「鼓舞」「復興商店街記念祭」への山車や神輿での演出を担当し、新たな祭の表現方法を探っている。2014年フランス・タイ、2015年タイ、2016年フランス・ドイツ、2018年スロベニアでの神輿渡御を行い、海外での神輿文化創出にも関わる。これまでに担いだ神輿は500基を超える。



### 監督 イノマトシ（猪股敏郎） プロフィール

TVCMディレクター出身の映像作家。

TVCMでは、カンヌCFフェスティバルをはじめ様々な賞を受賞。キンチョウ蚊取線香（藤原竜也）、4K8K衛星放送（深田恭子）などがある。

テレビドラマやドキュメンタリー作品も多く手がけ、NHK World「禁断の京都-Forbidden Kyoto」シリーズでは、シカゴ映画祭銀賞などを多数受賞。映画「OYAKO -present to the future-」でBerlin International festival Best Documentary賞を受賞している。



監督・構成 : イノマトシ [猪股敏郎]

プロデューサー : 石井正人

撮影 : 黒田大介・下山遼佑

音楽 : 濱田貴司

歌 : CHAN-MIKA

編集 : 宮田耕嗣

題字 : 遠藤夕幻

宣伝 : アーヤ藍

製作 : 「MIKOSHI GUY」製作委員会

制作 : FPI

制作協力 : 一般社団法人明日禪

2019年/日本/カラー/ 1時間16分 ©MIKOSHI GUY

## 公式SNS各種

トークイベントほか、「祭」をより深く楽しんでもらえるような企画を計画中です。最新情報は以下SNSで発信してまいります。

●Facebook : <https://www.facebook.com/mikoshiguy/>

●Twitter : <https://twitter.com/mikoshiguy>

●Instagram : <https://www.instagram.com/mikoshiguy/>